

新型コロナウイルス感染症に関して必要とする施策について (てんどう創生の会・令和2年7月20日)

◎プレミアム付き商品券の効果を最大限に引き出すための対応

プレミアム付き商品券は、一人につき飲食店用(5,000円)と小売店等用(10,000円)のそれぞれ1冊を購入することができるが、経済的に苦しかったり、飲食や買い物をする機会がそもそも少なかったりする世帯があり、62,000人全員が2冊を購入するとは考えられない。経済対策として発行されるプレミアム付き商品券は100%発行することによりその効果を最大限に引き出すことができる。そのため、100%発行するために次のような対応が必要ではないか。

- ・サービス業や医療機関、薬局、介護施設などに加盟店登録の周知を図る。
- ・「生活に欠かすことができないコメやゴミ袋、仏花などを大型店ではなく地元の小売店で購入しよう」「薬局での処方箋調剤にも使える」「医療機関や介護施設でも使える」といった使用例を紹介する。
- ・モンテディオ山形のホーム戦のチケット購入を対象に加える。
- ・市内在勤者も対象者に加える。

さらに9月末頃の発行状況を見て、余りそうな分について次のような対応を検討する必要があるのではないか。

- ・一人2冊までの制限を緩和し、余りそうな分について抽選で販売する。
- または、
- ・経済的に厳しく購入できない世帯に無料で配付する。

◎営業停止の際の補償

感染が発生したことに伴い急遽休業した場合に、仕入れた材料等が無駄になってしまう。そうした際の仕入れた材料等についての補償策を検討してほしい。

◎新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の利用促進

今回の天童市内での感染者の発生は、新型コロナウイルス感染症が身近に迫っていることを実感させた。

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受けることができるもので、利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができる。このアプリは、利用者が増えることで感染拡大の防止につながることを期待されるため、市民に対しこのアプリの機能や利用方法等を周知してはどうか。

◎新・生活様式対応支援補助金の充実

ある飲食店で「ソーシャルデスタンスを確保するために新たに卓(机)を購入したいが新・生活様式対応支援補助金の対象にはならない」と言われたという話を聞いた。新・生活様式対応支援補助金は県が2分の1を負担する補助事業であるため県要綱の対象とはならないとの判断と思われるが、県要綱の対象にならない場合であっても「新しい生活様式」に合わせるためには補助が必要な場合があるのではないか。市独自の補助を考えてほしい。

◎ふるさと納税の寄付の使途に「新型コロナウイルス感染症対策」の項目を追加

ふるさと納税の寄付の使い道の項目の中に新型コロナウイルス感染症対策の項目を追加することで本市出身の方が寄付しやすい体制が構築されるとともに、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大防止や新型コロナウイルス感染症により影響を受けた方(事業者含む)への経済対策などを迅速に実施することに加え、市民が安心して暮らすことができるまちを取り戻すために活用してほしい。

◎市発注の建設工事や備品購入の早期執行と市内業者への発注

市内の経済を回すために、すでに予算化されている建設工事や備品購入について早期に執行するとともに、市内業者に優先して発注するようにしてほしい。

◎窓口の「待ち人数」状況のホームページでの公開

新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、混雑が予想される窓口の「待ち人数」状況を市のホームページで公開してほしい。